



C コマンド

この章では、C で始まる Cisco NX-OS マルチプロトコル ラベル スイッチング コマンドについて説明します。

cbts-member tunnel-te

Class-Based Tunnel Selection (CBTS) トンネル インターフェイス タイプを設定するには、**cbts-member tunnel-te** コマンドを使用します。システムをデフォルトの状態に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

cbts-member tunnel-te *number*

no cbts-member tunnel-te *number*

構文の説明

number トンネル インターフェイスの番号。指定できる範囲は 0 ~ 65503 です。

デフォルト

なし

コマンド モード

TE インターフェイス コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

トラフィック エンジニアリング (TE) コマンドは、これら Class-Based Tunnel Selection (CBTS) メンバー トンネルには設定できません (**auto-bw**、**backup-bw**、**description**、**destination**、**fowarding-adjacency**、**inherit**、**source**)。



(注)

すべての **tunnel-te** 設定されたコマンドは、**exp** および **path-option** を除き、トンネルヘッドエンド インターフェイスで設定された場合 CBTS メンバー LSP に継承されます。コマンドが CBTS メンバー LSP とは独立して入力された場合、その CBTS メンバー LSP のトンネルヘッドエンド インターフェイスの設定より優先され、上書きされます。コンフィギュレーションが CBTS メンバー LSP から削除されると、トンネルヘッドエンド インターフェイスの設定が CBTS メンバー LSP に継承されます。

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、CBTS トンネル インターフェイス タイプを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface tunnel-te 1
switch(config-if-te)# cbts-member tunnel-te 251
switch(config-cbts-member)
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>interface tunnel-te</code>	トラフィック エンジニアリング (TE) インターフェイスを設定します。

class

作成または変更するポリシーのクラス名を指定するには、**class** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
class [type qos] {class-map-name | class-default}
```

```
no class [type qos] {class-map-name | class-default}
```

構文の説明

type	(任意) クラスのタイプを指定します。
qos	(任意) QoS クラスの一致を指定します。
<i>class-map-name</i>	ポリシーの設定または修正を行うクラスの名前。最長で英数字 40 文字です。
class-default	トラフィックがクラス マップ内で設定されているどの一致基準とも一致しない場合に、そのトラフィックが送られる定義済みクラスを指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

クラスマップ コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、作成または変更するポリシーのクラス名を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# policy-map type qos policy1
switch(config-pmap-qos)# class class2
switch(config-pmap-c-qos)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

class-map

クラス マップを設定するには、**class-map** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
class-map [type qos] [match-all] [match-any] class-map-name
```

```
no class-map [type qos] [match-all] [match-any] class-map-name
```

構文の説明

type	(任意) クラス マップ タイプを指定します。
qos	(任意) QoS クラスを指定します。
match-all	(任意) このクラス マップ内ですべての match 文に論理 AND を指定します。
match-any	(任意) このクラス マップ内ですべての match 文に論理 OR を指定します。
<i>class-map-name</i>	クラスマップ名 最大サイズは英数字 40 文字で、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

なし

コマンド モード

クラスマップ コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、このクラス マップ内のすべての **match** 文に論理 AND を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# class-map type qos match-all class-2
switch(config-cmap-qos)#
```

次に、このクラス マップ内のすべての **match** 文に論理 OR を指定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# class-map type qos match-any class-2
switch(config-cmap-qos)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
mpls ldp configuration	マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) ラベル配布プロトコル (LDP) を設定します。

copy running-config startup-config

実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーするには、**copy running-config startup-config** コマンドを使用します。

copy running-config startup-config

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

デバイスの MPLS ラベル配布プロトコル (LDP) を無効にすると、LDP コマンドを使用できません。このコマンドには、MPLS Services ライセンスが必要です。

例

次に、実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーする例を示します。

```
switch(config)# copy running-config startup-config
[#####] 100%
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config interface	インターフェイス コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

■ copy running-config startup-config